撮影する

被写体を1枚ずつ撮影する静止画像撮影と、最大64枚まで連続撮影できる連写ができます。
静止画像撮影には、写メールモードとデジタルカメラモードがあります。

- 写メールモード　　　：写メールでカメラ画像を送信できます。
- デジタルカメラモード：大きな画像サイズで撮影します。

撮影したカメラ画像は、データボックスの「カメラ」の「撮影フォルダ」に保存されます。

静止画像を撮影する

1　待受画面で［カメラ］を押す

カメラメニューが表示されます。

- ［カメラ］または［サイドキー1］を1秒以上押すと写メールモードになります。操作**3**に進みます。

2　［上下キー］で「1.写メールモード」または「2.デジタルカメラモード」を選び［センターキー］（選択）を押す

カメラ
1. 写メールモード
2. デジタルカメラモード
3. 連写モード
4. 見る
5. カメラ設定
選択　戻る

撮影画面に画像が表示されます。

- ズームなどを使うには（☛P9-11）
- 効果をかけて撮影するには（☛P9-12）
- V301Dを折りたたんでも撮影を継続できます。

3　被写体にカメラを向け［センターキー］（撮る）を押す

撮影画面

シャッター音が鳴り、コンパクトライトが赤く点灯します。静止画像が表示されます。

- ［サイドキー1］を押しても撮影できます。
- 写メールモードで撮影したカメラ画像は、写メールで送信できます。（☛P9-7）
- 撮影したカメラ画像にタイトルを付けるには、［機能キー］（機能）を押し、ポップアップメニューから「詳細設定」を選び［センターキー］（選択）を押します。以降の操作は（☛P9-13）
- ［センターキー］（撮る）を押さずに約3分間操作しないと、待受画面に戻ります。

コンパクトライトを使うとき

コンパクトライトを使い、被写体を照らせます。

① **［サイドキー2］または［#］を押す**

コンパクトライトが点灯します。

- ［サイドキー2］または［#］を押すごとに、コンパクトライトが点灯／消灯します。
- ［機能キー］（機能）を押し、ポップアップメニューから「コンパクトライトOn」「コンパクトライトOff」を選び［センターキー］（選択）を押しても、コンパクトライトを点灯／消灯できます。

9　カメラを使う

4 ◎（保存）を押す

カメラ画像が保存されます。

- カメラ画像を見るには（☛P9-17）
- カメラ画像を保存せずに撮り直すには ✎（中止）を押します。撮影画面に戻ります。
  - カメラ画像の詳細設定（☛P9-13）、180度回転（☛P9-6）を行ったときは、✎（中止）を押すと確認画面が表示されます。保存しないときは◎で「3.No」を選び◎（選択）を押します。
- 保存中に ✎（中止）を押すと保存を中止できます。

●待受画面に戻すには ✎（戻る）を1秒以上押します。

- 保存直後に自動的に付けられるタイトルの形式を変更できます。（☛P9-14）
- シャッター音を鳴らさないようにすることはできません。マナーモード中でも鳴ります。
- シャッター音を変更できます。（☛P9-14）
- 蛍光灯の光で撮影する場合、明るさなどにより撮影画面に縦縞（フリッカー）が表示されることがあります。
- 被写体が全体に白っぽい場合や、特定の色が大部分を占める場合は、実際とは異なる色合いで表示される場合があります。

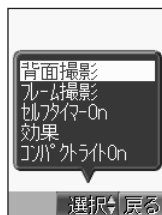
自分を撮影する

背面撮影に切り替えて、サブディスプレイに表示された画像を見ながら撮影します。V301Dを折りたたんだままでも撮影できます。

1 撮影画面を表示する

- 表示方法は「静止画像を撮影する」の操作**1**～**2**と同じです。（☛P9-4）

2 ◎（機能）を押し、ポップアップメニューから「背面撮影」を選び◎（選択）を押す

- 背面撮影を終了するには、◎（機能）を押し、ポップアップメニューから「正面撮影」を選び◎（選択）を押します。
- ＊ を押しても切り替えられます。
- ズームなどを使うには（☛P9-11）
- 効果をかけて撮影するには（☛P9-12）

3 被写体にカメラを向け撮影する

- 操作方法は「静止画像を撮影する」の操作**3**～**4**と同じです。（☛P9-4）

折りたたんだまま撮影する

折りたたんだ状態でカメラ撮影を開始すると、写メールモードで撮影できます。

1 待受中に（サイドキー1）を1秒以上押す

サブディスプレイに画像が表示されます。

- V301Dを開いてズームなどの設定ができます。（☛P9-11）
- V301Dを開いて効果の設定ができます。（☛P9-12）
- V301Dを開いてカメラ撮影を開始してから折りたたんでも撮影できます。
- V301Dを開いても撮影を継続できます。写メールモードからは変更できません。

2 被写体にカメラを向け（サイドキー1）を押す

シャッター音が鳴り、コンパクトライトが赤く点灯します。画像処理が行われたあと、静止画像がサブディスプレイに表示されます。

- V301Dを開いて、写メールを送信できます。
- V301Dを開くと、撮影したカメラ画像がディスプレイに表示されます。
- （サイドキー1）を押さずに約3分間操作しないと、待受画面に戻ります。

コンパクトライトを使うとき

コンパクトライトを使い、被写体を照らせます。

① （サイドキー2）を押す、またはV301Dを開いて #を押す

コンパクトライトが点灯します。

- （サイドキー2）または #を押すごとに、コンパクトライトが点灯／消灯します。
- V301Dを開いて（機能）を押し、ポップアップメニューから「コンパクトライトOn」「コンパクトライトOff」を選び◉（選択）を押しても、コンパクトライトを点灯／消灯できます。

3 （サイドキー1）を押す

カメラ画像が保存されます。

- カメラ画像を保存せずに撮り直すときは（サイドキー2）を押し、操作**2**からやり直します。

●待受画面に戻すには（サイドキー2）を1秒以上押します。

撮影したカメラ画像を180度回転するには

保存する前の画像は180度回転することができます。

①V301Dを開いてから、（機能）を押し、ポップアップメニューから「180度回転」を選び◉（選択）を押す

写メールを送信する

撮影したカメラ画像を、ロングメールに添付して送信できます。
●連写モードで撮影したカメラ画像は添付できません。
●デジタルカメラモードで撮影したカメラ画像は、自動的に写メールモードのサイズに縮小されて添付されます。

1 撮影したカメラ画像を保存する前に、(機能)を押し、ポップアップメニューから「写メール」を選び(選択)を押す

カメラ画像が保存され、ロングメール作成画面が表示されます。
● 以降の操作は「ロングメールを送信する」の操作**2〜11**と同じです。（☛『Vodafone live!編』P4-3）
● 写メール送信後は待受画面に戻ります。

連写モードで撮影する

被写体を連続して撮影します。連続して撮影できる枚数は、16枚、32枚、64枚から選択できます。撮影する速度も選択できます。

1 待受画面でを押し、で「3.連写モード」を選び(選択)を押す

● コンパクトライトを使うには（☛P9-4）
● ズームなどを使うには（☛P9-11）
● 効果をかけて撮影するには（☛P9-12）
● 背面撮影に切り替えても撮影できます。（☛P9-5）
● V301Dを折りたたんでも撮影できます。（☛P9-6）

連写枚数を選ぶとき

① **(機能)を押し、ポップアップメニューから「連写枚数」を選び(選択)を押す**

② **で連写枚数を選び(選択)を押す**
連写枚数が設定されます。

撮影する速度を選ぶとき

① **(機能)を押し、ポップアップメニューから「連写モード速度」を選び(選択)を押す**

② **で速さを選び(選択)を押す**
連写モード速度が設定されます。速度は目安です。
● 連写モード速度は以下から選べます。
- 速い：1秒間に約15枚の速さで撮影します。
- 普通：1秒間に約10枚の速さで撮影します。
- 遅い：1秒間に約5枚の速さで撮影します。

9 カメラを使う

2 被写体にカメラを向け ◎（撮る）を押す

連続撮影音が鳴り画像が撮影されます。撮影が終了すると、シャッター音が鳴り、コンパクトライトが赤く点灯します。連写したカメラ画像が表示されます。

- （サイドキー1）を押しても撮影できます。
- 連続撮影中（連続撮影音が鳴っているとき）に、（サイドキー1）を押すと、連続撮影を中止できます。
- 撮影したカメラ画像にタイトルを付けるには、（機能）を押し、ポップアップメニューから「詳細設定」を選び◎（選択）を押します。以降の操作は（☛P9-13）
- ◎（撮る）を押さずに約3分間操作しないと、待受画面に戻ります。

3 カメラ画像を保存する

- 操作方法は「静止画像を撮影する」の操作4と同じです。（☛P9-5）

●待受画面に戻すには （戻る）を1秒以上押します。

補足

- 連写モードで撮影したカメラ画像は、連写枚数分の画像が1画面に並んで表示されます。アニメーション再生ができます。（☛P9-17）
- 連写枚数を16枚で撮影したときは、16枚の中から画像を1枚取り出して保存できます。（☛P9-22）
- 連写モードで撮影したカメラ画像は写メール送信できません。ただし、連写枚数16枚で撮影したときは、1枚取り出して保存した画像は送信できます。

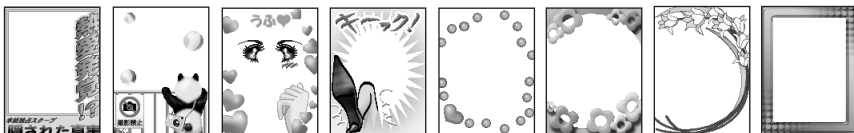
フレームを重ねて撮影する

写メールモードでは、フレームを被写体に重ねて撮影できます。

●フレームは、お買い上げ時に登録されている8種類の中から選べます。

1 撮影画面を表示する

- 表示方法は「静止画像を撮影する」の操作**1**～**2**と同じです。（☛P9-4）

9 カメラを使う

2 （機能）を押し、ポップアップメニューから「フレーム撮影」を選び （選択）を押す

フレームが表示されます。

3 でフレームを選び （選択）を押す

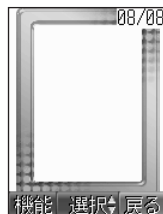
フレームが設定されます。

- 背面撮影に切り替えても撮影できます。（☛P9-5）
- V301Dを折りたたんでも撮影できます。（☛P9-6）

カタログ表示でフレームを選択するとき

① （機能）を押し、ポップアップメニューから「カタログ表示」を選び （選択）を押す

② でフレームを選び （詳細）を押す

③ （選択）を押す
フレームが設定されます。

フレームを変更するとき

① （機能）を押し、ポップアップメニューから「フレーム撮影」を選び （選択）を押す

② で「1.変更」を選び （選択）を押す

③フレームを選び直す

フレームを解除するとき

① （機能）を押し、ポップアップメニューから「フレーム撮影」を選び （選択）を押す

② で「2.解除」を選び （選択）を押す
フレーム撮影が解除されます。

9 カメラを使う

4 被写体にカメラを向け撮影する

- 操作方法は「静止画像を撮影する」の操作**3**〜**4**と同じです。（☛P9-4）

セルフタイマーを使う

自分を撮影するときに便利です。手ぶれ対策としても利用できます。

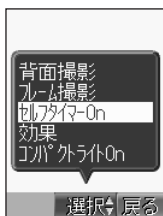
◆例：セルフタイマーを使って静止画像を撮影するとき

1 撮影画面を表示する

- 表示方法は「静止画像を撮影する」の操作**1**〜**2**と同じです。（☛P9-4）

2 （機能）を押し、ポップアップメニューから「セルフタイマーOn」を選び（選択）を押す

セルフタイマーが設定されます。

- 背面撮影に切り替えても撮影できます。（☛P9-5）
- V301Dを折りたたんでも撮影できます。（☛P9-6）
- セルフタイマーを解除するときは「セルフタイマーOff」を選び（選択）を押します。
- セルフタイマーの時間を、5秒と10秒から選択できます。（☛P9-14）

3 被写体にカメラを向け、（撮る）を押す

セルフタイマー音が鳴り、コンパクトライトが緑色で点滅します。約5秒後（セルフタイマーの時間を10秒に設定しているときは約10秒後）にシャッター音が鳴り、コンパクトライトが赤く点灯します。静止画像が表示されます。

- カメラ画像にタイトルを付けるには、（機能）を押し、ポップアップメニューから「詳細設定」を選び（選択）を押します。以降の操作は（☛P9-13）
- （撮る）を押す前に約3分間操作しないと、待受画面に戻ります。

4 カメラ画像を保存する

● 操作方法は「静止画像を撮影する」の操作4と同じです。（☛P9-5）

- セルフタイマー音、シャッター音を鳴らさないようにすることはできません。マナーモード中でも鳴ります。
- セルフタイマー音を変更できます。（☛P9-14）
- 連写モードのときにもセルフタイマーを使えます。
- コンパクトライト点灯中は、セルフタイマー音が鳴っているときの緑色の点滅が見えづらくなります。

撮影時の設定を変更する

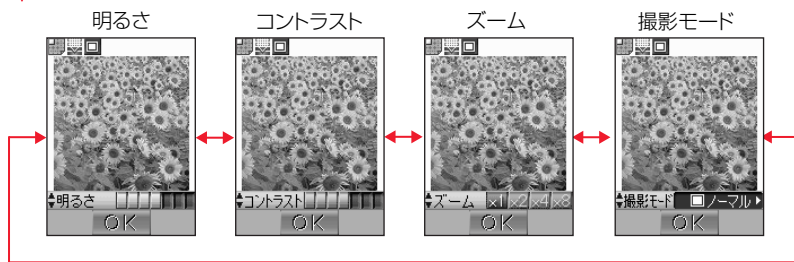
撮影する画像の明るさやコントラストなどを変更できます。

●カメラの撮影を終了すると、お買い上げ時の設定に戻ります。

1 撮影画面で を押し、設定項目を選択する

● 表示方法は「静止画像を撮影する」の操作**1**～**2**と同じです。（☛P9-4）

● カメラ撮影を終了するまでは、前回選択した設定項目が表示されます。

● を押すごとに設定項目が切り替わります。画面はお買い上げ時の設定です。

● 撮影画面で を押すと撮影モードが表示されます。

2 で各項目を設定し （OK）を押す

画像の明るさ、コントラスト

7段階で調節できます。

ズーム

カメラモードによって設定できる倍率が違います。

- 写メールモード：×1、×2、×4、×8
- デジタルカメラモード：×1のみ（設定できません。）
- 連写モード：×1、×2

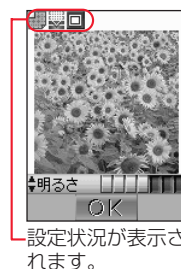
撮影モード

種　類	説　明
ノーマル	標準の色合いです。
夜景	露光時間を調整し、暗いところでも、自然な色合いに近づけて撮影できます。夜間の撮影におすすめします。 夜景モードで撮影の場合、色合いなどの再現性はよくなりますが、カメラの特性上光量の少ないところで撮影すると、線などのノイズが出ることがあります。また、手ぶれにご注意ください。

- フレーム撮影時のフレームの色合いは変わりません。

設定状況を確認する

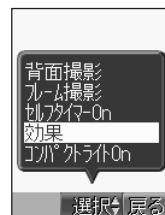
画面の上部に、カメラの設定状況が表示されます。

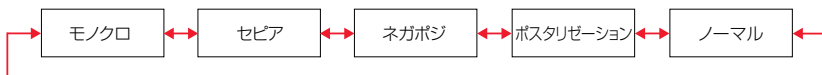
- カメラモード
  - ：写メールモード
  - ：デジタルカメラモード
  - ：連写モード（連写枚数16枚）
  - ：連写モード（連写枚数32枚）
  - ：連写モード（連写枚数64枚）
- 圧縮率
  - ：ハイクオリティ
  - ：ファイン
  - ：ノーマル
  - ：エコノミー
- 撮影モード
  - ：ノーマル
  - ：夜景

設定状況が表示されます。

効果をかけて撮影する

画像を白黒や古い写真のような色合いにして撮影できます。

1　撮影画面で （機能）を押し、ポップアップメニューから「効果」を選び （選択）を押す

- 表示方法は「静止画像を撮影する」の操作**1**～**2**と同じです。（☛P9-4）

2 で効果の種類を選び（選択）を押す

● を押すごとに効果の種類が以下の順に切り替わります。

効果の種類	説　明
モノクロ	白黒写真のような色合いにします。
セピア	古い写真のような色合いにします。
ネガポジ	色を反転して、写真のネガフィルムのようなタッチにします。
ポスタリゼーション	色の明暗をはっきりさせて、絵画のようなタッチにします。
ノーマル	効果を取り消します。

詳細情報を設定する

撮影直後に、カメラ画像のタイトルと圧縮率を変更できます。

●詳細情報を見るには（☛P9-20）

●撮影を終了してから、保存済みのカメラ画像のタイトルの変更（☛P9-23）や、詳細情報の設定（☛P9-34）が行えます。

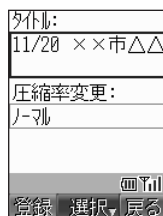
1 撮影したカメラ画像を保存する前に、（機能）を押し、ポップアップメニューから「詳細設定」を選び（選択）を押す

詳細情報の設定画面が表示されます。

2 タイトルを入力する

①でタイトル欄を選び（選択）を押す

②タイトルを入力し（決定）を押す

● 最大で全角12文字（半角24文字）入力できます。

3 圧縮率を選択する

①で圧縮率変更欄を選び（選択）を押す

②圧縮率を選び（選択）を押す

4 （登録）を押す

詳細情報が設定されます。